



特別展覧会

慈悲の微笑 円空と木喰

えんのぎょうじや

かつらぎ

しゅげん

役行者と葛城修験

後援▽総本山聖護院門跡 大峯本宮天河大辨財天社 歴史街道推進協議会

五條市・御所市・新庄町・當麻町・王寺町・天川村の各教育委員会

協力▽香芝市二上山博物館友の会 ふたかみ史遊会



'99
9/25 SAT → 11/14 SUN

●9:00~17:00(入館は16:30まで) ●月曜日休館

●観覧料

大人500円(400円) 高・大学生300円(200円) 小・中学生150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金

※本料金で常設展もご覧になれます。

香芝市
二上山博物館

NIJHOSAN MUSEUM KASHIBA-CITY

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

香芝市ふたかみ文化センター内

TEL: 0745-77-1700 FAX: 0745-77-1601

慈悲の微笑 円空と木喰

特別展

奈良県御所市茅原で生まれた役行者（役小角・役優婆塞）は、7世紀後半頃に金剛山や葛城山で修行を積み重ね、捨身の苦行をとおして靈験を得たとされています。役行者と聞けば、誰しも想像するのはその超能力的な伝説で、後世に神格化された幻想的な話が多いのですが『続日本紀』に記された実在の人物です。

平安時代、天台・真言両宗の密教が山林修行を奨励したことから、日本古来の山岳信仰と習合し、金剛・葛城や大峯・熊野など各地の霊山に修験者が集まり、役行者を修験道の開祖として仰ぎました。

葛城修験が大峯修験と共に最盛期を迎える鎌倉時代前後頃は、金剛・葛城の峰中、神霊が籠もる二十八の地に「法華経」二十八品を1巻ずつ埋納する経塚が祀られました。この経塚は紀淡海峡の友ヶ島を起点に、和泉・金剛山脈を北上し、葛城山・二上山・逢坂の経塚を経て、明神山北麓の亀の瀬まで続きました。この二十八の経塚をひとつながりの行場としてまとめ葛城修験は形成されました。

本特別展では、役行者の伝承と実像に迫るとともに、逢坂の経塚（市指定文化財）を中心に、葛城二十八宿の経塚をご紹介します。また、江戸時代に諸国を巡錫し、庶民のために多数の仏像を刻んだ円空と木喰・明満を例に、修験者の実態もあわせてご紹介します。

特別展記念講演会

■ 9月26日（日） 14:00～16:00

演題「役行者と葛城・大峯修験」

講師：柿坂神酒之祐氏

（大峯本宮天河大辨財天社宮司）

■ 10月17日（日） 14:00～16:00

演題「役小角伝承と葛城氏」

講師：門脇禎二氏

（京都橘女子大学学長・文学博士）

■ 11月3日（水・祝日） 14:00～16:00

演題「葛城修験とその背景

—修験霊場の現状—

講師：宮城泰年氏

（聖護院門跡執事長・本山修験宗宗務総長）

★会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

★いずれも事前の申し込みは不要ですが、当日発行の二上山博物館特別観覧券が必要です。聴講無料。

表写真：蔵王権現像（善福寺）

役行者と葛城修験

大日如来像（円空仏） 法隆寺→



↑木造役行者像 吉祥草寺



護法神像（円空仏） 栃尾観音堂→



白鬼像（木喰仏） 東光寺←

●最寄り駅からの略図

